



中都建第 1073 号
平成 20 年 11 月 12 日

国土交通省道路局長 殿

中城村長 浜 田 京 介



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（提出）

平成 20 年 9 月 26 日付、国道企第 37 号で依頼がありました標記
の件について、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

沖縄県中城村

村道整備については、地域からの要望をふまえつつ維持管理や改良・舗装事業を主体に継続的に進めているが、近年の財政事情が厳しい中、進捗の鈍化が顕著となっている。特に老朽化した道路施設の改良・維持管理等について補助事業導入の検討を要望する。

今後の道路行政についての意見・提案

②－① 地域の現状と抱える課題

様式 ②

沖縄県中城村

○現状

本村の道路網は、広域幹線である国道329号が東側、沖縄自動車道が西側で南北に走り、東西方向に県道35号、県道146号で結ばれ、さらに南上原土地区画整理事業区域を南北に走る県道29号（那覇北中城線）が県道35号と連結して台地区域の縦軸となっている。村道においても吉の浦線、奥間南上原線、ウフクビリ線、安里中央線、潮垣線などが主要な地域間連結機能を果たしている。

○課題

今後の道路・交通網の整備拡充については、国道、県道の継続的な整備や維持管理の強化促進とともに、村道及び隣接市町村との有機的な連結による道路ネットワークを強化する必要がある。特に宜野湾市と結ぶ東西連絡道路の住民生活への影響は大きく、また、本島中南部東海岸地域の開発進展に対応し、広域的な道路交通ネットワークの強化が求められている。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

様式 ③
沖縄県中城村

中城村では、村のシンボルである中城公園をはじめ吉の浦公園、村民の森等の公園や南上原土地区画整理事業といった新市街地の整備プロジェクトを進め、村民の生活拠点形成を図りつつある。また、これらを結ぶ人・車のネットワークや沿道のうるおいのある個性的な景観の保全創造を積極的に進めていく事が求められている。

国道、県道、村道などの道路網の拡充を図り、それぞれの道路機能を高め合うような広域道路ネットワークを強化し、中城湾域を取り巻く広域的な開発動向に対応し、海岸地区の土地利用の軸として国道329号バイパスの整備が必要であるとともに、隣接市町村との協力体制のもと、国道329号と国道330号を連結する県道の整備が必要と考える。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

沖縄県中城村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	国道329号と県道32号を結ぶ東西連絡道路の建設	国立琉球大学の所在する南上原地区は、土地区画整理事業の進展に伴い都市化が急速に進んでいる。また、同地区は主要都市に近い地理的条件から年々交通量も増加し、幹線道路である県道29号は朝夕のラッシュ時には交通停滞が恒常化している。このような状況を緩和するためには県道29号との交差点となっている県道32号と土地区画街路南上原中央線を結び、国道329号まで延伸することにより交通停滞の緩和と利便性を高める。	